

## 2 目標達成計画

事業所名： グループホーム 金山

作成日： 令和2年11月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急時、消防署の緊急者が事業所まで何分で到着するか、夜間火災時の避難限界時間は何分なのかを把握し、根拠のある、より実践的な避難訓練の実施に向けた取り組みを期待します。	消防署に緊急車両の到着時間を確認し、それに合った避難計画・訓練を行う。様々なパターンを想定し、職員間で緊急時対応を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急者の到着時間を消防署に確認すると、約5分位との回答であった。その時間で想定した具体性のあるフローチャート作成、訓練を行う。</li> <li>・基本的に避難訓練は抜き打ちで行う。</li> <li>・夜間想定(職員が少ない時間帯)を中心に訓練を行う。</li> <li>・消防設備の再点検。</li> </ul>	5 か月
2	43	利用者の「排泄の自立は生活の自立」を全職員で共有しながら、トイレでの排泄支援の継続的取り組みを期待します。	排泄ケアは、自尊心とも直結するケアと考え、引き続きトイレでの排泄を主としていく。利用者の状況に合わせ、時々合った排泄ケアを心掛ける。職員間での排泄ケアへの意識と情報を共有し、利用者の心身共に負担のないケアを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関するアセスメントを継続し、常時改善点を見出す。それを職員間で情報共有し、スムーズに実践する。</li> <li>・あくまで本人の自尊感情に配慮しつつ、心身に負担のない事を前提としながら、トイレでの排泄を心掛ける。</li> <li>・排泄、排便、皮膚状態の確認。</li> <li>・排泄ケアのみでなく、日常生活の中からも情報収集する事を心掛け、利用者全体を見たトータル的なケアを提供する。</li> </ul>	5 か月
3					か月
4					か月